

Bさんの場合

娘さんが知的障害を伴う自閉症（当時19歳）

居住地：仙台市宮城野区

インタビュー日：2023年10月12日

お話：Bさん

聞き手：橋本武美

橋 お友達ですが、今日初めてお話を聞きます。

B はい。

橋 Bさんはお嬢さんが……診断名は？

B 自閉症。

橋 自閉症で、おいくつですか？

B 現在31。

橋 今31歳の女性です。なので、震災当時は？

B 19歳。高校卒業した年の明けた時ですね。

橋 その時は、もう事業所にいた？

B はい。生活介護で、施設にいました。

橋 施設で働いていて、生活介護のところに行っていて、地震が起きた時は家だったのかな？通所先？

B 通所先にいました。私は家でテレビを観てて、14時45分くらいで地面グラーツと来て、マンションの駐車場に出たら、マンションにいた人みんな出てきて、「大丈夫？大丈夫？」とかって話してて。で、落ち着いてから私は歩いて、まずは母が宮城野病院に入院してたので、宮城野病院に寄って……。

橋 徒歩で？

B 徒歩で。もちろん車では行けないので。宮城野病院に寄って母を見て、母はもうみんなと一緒に外の駐車場にいて、これから公済に……。

橋 あ、移される？

B そうそう。公済病院。無事を確認して、そのまま歩いて幸町の施設に行って、職員さんから娘を引き渡ししてもらって。

橋 そして、そこから施設まで歩いて行ったんだよね。

B 歩いて。うん。

橋 幸町だね、あそこね。家からどのくらい時間かかった？

B 家から宮城野病院まで30分ぐらいかなあ。そこから施設までは10分ぐらいかな。

橋 10分で行くかな。まあそうね、10分、15分ぐらいか。

B で、帰りに施設で引き渡ししてもらって、まだ非常用の灯りもついてたので、まず施設でトイレ済ませて。

橋 みんな施設で待ってたんだ。

B そう、みんなと一緒に、職員さんと一緒に固まった。

橋 お迎えが来るのを。

B うん。で、マンションに歩きながら行って、東仙台駅前のミニストップでまずは食料を買い出しして、残ってる物を。

橋 途中でっていうこと？コンビニ？

B うん、東仙台駅のミニストップで、なんか買わなきゃって、ロウソクとか、残ってるパンとかお菓子とか。

橋 その時は普通に買った？

B もうほとんど残ってなかったから、残ってるものの中から。それから歩いて実家に寄って、あと兄たちのところも大丈夫かって確認して。実家は空き家だったので、仏壇のロウソク持って。

橋 ああ。で、家に帰って。

B そう、マンションに帰って。マンションの人たちが、避難場所は新田小学校なんだけれども、新田小学校はいっぱいだからってことで、とりあえず町内の集会所にみんなで寄って、町内の人たちと。もう夕方だからね、雪も降ってきて。で、町内会長さんから「ここにいっても避難物資も水も何ももらえないから、新田小学校に移動しなさい」って言われて。ただ、新田小学校はもういっぱいであれなので、毛布とか寒くないように持って移動しなさいって言われて、マンションの人たちと毛布持って新田小学校に移動して。

橋 行ったんだ。

B 一応みんなで行ったのね、雪降ってきたし。だけど、新田小学校でも、2人で水1本500ミリリットル。

橋 一応入れた？新田小の避難所はいっぱいだけど、受け入れてた？

B うん、体育館じゃなくて教室に入ったの。体育館はもう入れないから。マンションの人たちと教室に入って。で、そこでしばらくいて、みんな持ってきたお菓子食べたり何だりしてて。

橋 その時に、コトちゃんはどんな感じだった？

B 何ともない、普通に大人しくついてきて。

橋 一緒について歩いて。

B ただ、小学校に着いたらもう暗くなってたから、懐中電灯とか照らしたら、彼女はもうキャンプと同じ光景だと思っただけで、笑い出して(笑)キャンプと同じだと思ったんですよね。みんなでお菓子どうぞどうぞって分け合ったり。

橋 みんなで大勢でお菓子食べて、ロウソクがあったりとか。

B そうそう。笑い出して、静かにしようねって。

橋 楽しかったのか。

B そう。

橋 分かんないし、ちょっと楽しくもなって……。

B で、そのうちにマンションの一人の人が、ご主人が来たから心配だから戻って言うから、「じゃあうちも戻るわー、なんか笑い出したから」って言って、その人とご主人と一緒に4人でマンションに戻りながら、途中公衆電話使えたのが分かったので、公衆電話で主人の秋田の実家に電話して「大丈夫ですよー」という話をして、マンションに戻りました。戻ったら主人が職場から戻ってきて、家の物を片付けしてた。

橋 自宅にもうお父さんはいたんだ？

B 戻ってきてたの。私たちがいない時に帰ってきて。

橋 連絡はついてなかったけど、もう自宅に戻ってたんだ。

B ついてなかったけど戻ってきて、家の片付けしてて。それでマンションはまだ水が使えたんですね。受水槽に溜まってる水はまだみんな使ってないから、今のうちに水溜めとけてって言われて、ポットとかに水を溜めて。

橋 そうだね、みんな水溜めてたんだね。

B うん、お風呂の水はあったから大丈夫で。それで食べる物は、前の方が娘の誕生日だったので、ケーキとか残り物シチューとか、いっぱい食べる物はあったので、それを食べて、あとは卓上コンロを出して土鍋出して、電気来ないから、冷蔵の物が悪くなるから何でもかんでも突っ込んで食べて。

橋 食べる物は困らなかったのね。

B そう。冷凍庫も保冷剤とか入ってたので、そんな溶けなかったの。

橋 次の日とかは。

B うん、大丈夫だったんですよね。で、次の日は実家に反射板のストーブがあったのを思い出して、溶けそうなものは持って実家に行って、その反射板の上にアルミホイル敷いて焼いたりして食べました。あと、恵まれてたのは、町内会の集会所の水道が使えたこと。昔の水なので、本管から直接来てるから、水が出たので、みんな汲みに来てたんですね、他の町内から。なので、みんなが来ない夕方から夜に、ポットとか持って行って水を汲んで。なので、集会所のトイレは使えたので、小は家でやって、大はもう集会所に夜暗くなって人がいない時に娘と一緒に行ってやったりしました。

橋 集会所までは歩いてどのくらい？

B 1分もかかんない。マンションのすぐ隣なので。

橋 本当にすぐなんだね。

B 集会所はもう鍵開けてて、ホワイトボードが伝言板みたいになって情報とかが書いてあって、ミヤギテレビが使えるって書いてあったので、昼間はミヤギテレビまで歩いて行ってトイレ使ったり。自販機もあったのでそこで飲み物を買えたり、充電器持って行けば携帯も充電できたんですね。ミヤギテレビのロビーにパイプ椅子とか毛布が置いてあって、いろんなメーカーの充電器が差してあったので。

橋 ミヤテレは、歩いてどのくらい？

B 歩いて15分くらい。あと近くに「となりのれすとらん」っていうのがありまして、そこは井戸水とLPプロパンガスだったから煮炊きができて、お弁当を販売してたっていうのを実家の姉から聞いて、娘と一緒に歩いて「となりのれすとらん」に並んで温かい弁当を買うことができたので、食べ物には困らなかった。

橋 へー。

B あと新田の昔からのちっちゃい商店は、お肉とかいろんな野菜とかを売ってたんですね。ご主人に聞いたら「みんなガソリンがなくて市場に仕入れに行けないだけで、市場には物がいっぱいある」っていうことで、そのおじさんは自分で仕入れに行って、普段置いてないパンとかも結構販売してて、みんな買いに来てた。そこまで歩いて20分くらいなのかな。そこも娘と一緒に歩いて買ってたりとかもできたので。

橋 それはお店？何て言うんだろ。

B お店。なんとか商店っていう、ちっちゃい昔からの商店。並んでると、「新田スーパーでもなんか買えるわよ」とか結構情報があったので、乾電池とかは新田スーパーに並んで買ってたりとか。

橋 マンションの人たちからとか、ミヤテレのこととかで、情報が入った。

B うんそう。並んで待ってたりすると、「あそこであるわよー」とかって。

橋 並ぶのとかは、コトちゃんと一緒に並んで大丈夫だった？

B 別に苦にならないの。大丈夫。

橋 それは良かったね。

B うん、実家の姉と一緒に歩いて行ったり。電気は3日目にすぐ復旧したんですね。金曜日の14時からシャットダウンして、日曜日にはもう復旧したので、電気は。

橋 電気は3日目に。

B うん、すぐ復旧したので、みんなお友達とかが高砂から「充電させてー」って来たりとかして。それでテレビで見て初めて、あー空港とかこんなになってるんだって。それまではラジオだけだったので。携帯の充電は、あのくるくる回すやつが避難のリュックの中にあって。

橋 手回しのね、手回し充電ね。

B うん。それでやったり。避難リュックがあったんですね、もらったのが。兄貴の付き合いでもらったやつがあって、そこにお水を入れるとご飯になるのとか、サランラップとかいろんなのが入ってたので。ガスボンベも買い置きがあったので。

橋 あの卓上コンロのやつね。

B うん。あれで間に合ってた。

橋 非常用のそのリュックとか、買い置きしていた物もあったし、水も結構使えたり。

B そう。トイレとかね。で、前の晩が娘の誕生日だったから、2リットルのお茶とかそういうのもあったし、食べ物もあったので。

橋 うんうん。

B 困ったのはガソリンです。ガソリン満タンに入れてなくて、主人が何回も朝早く並んでも買えなかったのが、最後は朝4時くらいに行くと並んで買った時は、数量制限あって10リットルしか入れられなかったとかって。

橋 お父さんが一人でそうやって動けたんだね。

B うんうん。会社も休みだったから。

橋 家族で一緒にすぐ合流できたし、お父さんのほうも何もなくて、お父さん休みになって一緒にいられた。

B そう。で、電気がついたことによって、マンションの浄化槽ポンプが動くから、水も使えるようになったので、お友達とか実家の姉とかから「洗濯機貸して」とか「水ちょうだい」とかって、みんな来てました。ガスが一番最後で、1ヶ月後、4月8日くらいに……。

橋 そう、遅かったねー。

B 来ると思ったら、あの2回目の地震が来たので、またちょこっと遅れたんですね。名古屋の人でしたね、ガス局。

橋 うちは大阪ガスが来たよ。でも、はぁー（嬉）って思ったよね、ガス。大阪ガスの人が来てくれたーって。

B で、ガス屋さんが来て、「もうこんな土鍋とか卓上コンロ使わなくてもいいからね」って言われて（笑）

橋 で、テレビがついて、津波の映像とか……ね、情報が入って。

B 仙台空港の映像はびっくりだね。

橋 びっくりしたよねー。ラジオだけではちょっと分かんなかった。

B そうですね、分かんない。で、2日目に、次の日の朝早く実家の物を片付けに行った時、固定電話が鳴ってるんですよ、音は低いんだけど何か鳴ってるなと思ったら、昔からの固定電話はつながったのね。

橋 そっかそっか、昔からの電話がそのまま。

B そうそう、実家にあったので。それに出たら弟が「すごいことになってるぞ」って言って。で、井戸水とプロパンガスは使えた。なので、田舎のほうは割とそれで煮炊きはできたみたいですね。

橋 井戸水も使えたんだ。

B そう。集会所の水も本管から直接来てるから、水使えたんだねって言ってた。マンションは受水槽あるから、残ってるやつを使えたの。今のうちに溜めとけーって溜めて。みんなが帰ってきて水使ったら無くなっちゃうから。

橋 うん。みんながお風呂溜めたらね、無くなっちゃうからね。

B うん、電気止まってる、水を上に汲み上げられないから、マンションは。だから集会所は直接だから。

橋 上がってこないもんね。マンションは何階ですか？

B 7階建て。

橋 7階建ての？

B 2階。なので、エレベーター停まっても別に。電気通ってからはもう掃除機とかかけられたから。洗濯もできたし、ガスだけです。遅かったのは。あとガソリンがすごくね、買えなくて並んで10リットルとかって並んだ。

橋 うん、なかなかねー。車、一晩中そのまま並んだままとかだったよねー。

B ちょっとガソリンはねー。

橋 コトちゃんが落ちてくれてたのは良かったね。

B うん、別に何ともなくて、暗いからまあ早めにもう……余震あったからパジャマじゃなくてすぐ動けるように、もうみんなジャージで、靴下履いて動ける状態で寝てたからね。

橋 近くの人たちと一緒に動くのも大丈夫だったし？

B うん。

橋 そっか。

B で、1週間後くらいから動けるようになったんだよね、施設も来ていいよって言われたんじゃないかな。

橋 1週間後くらいに施設が？

B うん、たぶん3月22日……お彼岸明け？

橋 送迎はなしで、連れて来てくれるなら来ていいよみたいな感じとか？

B うちもともと送迎使ってないから、自力であたしが送り迎えしてたから。

橋 最初のころはそういうの、デイスービスとかもさ、普段の送迎はちょっとごめんなさいで、連れてきてくれればみてあげるよみたいな、そういうのはすごい聞いたけど。

B うん。あと趣味で通ってた「ねこや」のさをり織りのところが新田にあって、連れて来ていいよって言われてたから、午前中だけとか半日だけ、そこに行って置いて来てたので、そのあいだ私たち2人は自由に動けるから、片付けとかができた。

橋 そっか。通所行ってたりとか、ねこやに行ってる時とかに、母だけ動けて。

B そうそう、さをり織りのところに午前中だけとか置いてたから。

橋 通所のも歩いて？

B ガソリン入ってからは車で送って行けるようになった。

橋 あー本当。

B 10日くらいかかったのかな。

橋 じゃあ1週間ぐらいで再開した時は、車で動けたんだ。

B うん、そう。ガソリンも入ったから。もう9時から16時まで行ってた。で、主人も3日目くらいから仕事にもう行ったからね。

橋 じゃあ割とコトちゃんは、丸っきり同じではないにしても、通所も1週間ぐらいで通えるようになって、ねこやとか前から行っていた場所が「来てもいいよ」って言うてくれて、趣味的なところも行けたりとかしてたんだねー。

B そうだね。

橋 それはすごいねー。良かったね。食べる物もさほど……。

B 切れるってことはない。

橋 ね。困ったことはなく。

B 並んで買えたし。

橋 そのあと、例えばちょっと落ち着いてからとか、コトちゃんに何か変化があったりとか、思い出してるなーとかそういうことは？

B 変わらない。そういうのはない。

橋 ないんだ。

B 地震があった時、みんなと一緒にテーブルの下に……。

橋 施設で。

B うんうん。で、静かに待ってましたーって来たから。

橋 じゃあ施設でも落ち着いてただろうし、そういう避難みたいなことも、周りが大パニックになってるとかそういうのでもなかったのかな。

B ないね。そう、みんなと一緒に行動してたって言うてたからね。

橋 そんなにそんなにづらい体験として残ってる感じでもない？

B うん、ない。ただお風呂入れなかったから、電気が通った時に電気ポットでお湯沸かして、それで体拭くくらいだったの。

橋 ガスが遅かったのは、お風呂がやっぱ困ったよね。

B うん。でも実家が近かったし、誰も住んでない実家でLPだから、そこにお風呂入りに行ってた。歩いて行って。プロパンガスだから。電気来なくても昼間にお風呂入ったりしてたので。

橋 実家すごいね。住んでなくてもプロパンを使えて、電話も鳴ってるとか（笑）

B そう、母が入院してたから鍵とか私が預かってたから。髪の毛もシャンプーしたいなーと思ったら、近所の知ってる方の美容室で「プロパンだからシャンプーできるよー」って言われたから、2人してシャンプーしに行ったり。あと生協にあった隣の美容室も、サービスで「無料で洗髪します」って貼り紙してあって、そこに行ったりしてた、母も。

橋 いろいろそういうのやってたんだね。

B サービスでやってたから、「タダだって」とかってみんなに教えて、行って。その時も余震があると帰るお客さんもいたけど、私は残ってそのままシャンプーしてもらった。灯油で沸かしてるお湯だったからなんじゃないかなあ、プロパンガスじゃなく。あと、まるまつは電気じゃなくてLPガスだったから営業してたの。生協のところのまるまつ、新田の。

橋 へー。

B 冷凍食品なのか、チンするだけかなんかなんだよねー。たぶん揚げるだけとか。

橋（笑）でも電気……あ、でも電気は早かったもんね。そっかそっか。

B そうそう、それにプロパンガスだと揚げ物とかはできるんじゃないですかね。新田のまるまつが営業してました、早い。

橋 で、「となりのれすとらん」もあったしね、その辺はありがたかったね。

B そうそう、お弁当にしているんな物売ってた。みんな並んでたから並んで。「売ってるよー」って言われて、シャケとかあったかいご飯食べれた。

橋 コトちゃんも何でも食べれるもんね。だから食べ物にそんな困らない。すごい「あれが食べたい」とかっていうことも？

B ないない。みんなと一緒に食べてたから。

橋 お菓子もあったし。

B うん。

橋 で、避難所に最初行った時も、そんな嫌なこととかはなかったのね。

B ないない。集会所はみんなマンションの人が多かった。まあ町内だし、みんな子供会で一緒だった人とかいるから。

橋 コトちゃんのことを知ってる人たち？

B うん、みんな知ってるさね、小学校から一緒だからね、町内会だから。

橋 うんうん、一緒にいたって感じだね。

B みんなで移動して。でも新田小学校のトイレは入れなかった。わー無理だこれ、と思った。

橋 ああ。

B 外に仮設のトイレができてたんだけど、四方にブルーシートみたいなのをただ垂らしてるだけなんだよね。暗いところで。あそこではなーって。

橋 うーん。でもマンションの隣に集会所があったしね。

B うん。で、仙台の元気フィールド？宮城野区の体育館、あそこが避難所だから行けばいいんじゃない？新しいから良いねってみんなで言ったら、町内会長から「宮城野体育館は避難所指定になってないから、新田小学校に行きなさい」って言われて、で、そのうちに新田小学校がバンクになって、結局宮城野体育館も避難所になって。で、そこに美智子皇后とかが来た時、ヘリコプターがガーって、あそこに来たんだもん。

橋 ふーん。溢れちゃってるからあとから避難所にしたんだ。そこには行った？

B そこに行かない。マンションにもう戻ってきてたもん。電気も通ってたから。あそこに蒲生とかから来た人たちがいて、そこに皇后様が来て、その時に皇后様にユリだかスイセンだかを渡した人、おばちゃんがいた。蒲生だかどこかの。

橋 ああ、あそこだったんだ。

B うん。ヘリコプターうるさいな、今日何だろうと思ったら、美智子様来てたんだーって。高砂小学校ももう満杯になったから。

橋 なんか海のほうとか、蒲生あっちのほうで、もう水が来て、実際水の被害があったような人たちがそこにいっぱい来たんだねー。

B うん。高砂小学校は満杯になったでしょ。中野栄小学校もダメだったから。

橋 もう普通の小学校の避難所は、すぐ全部どこもいっぱいだったよね。

B 埋まっちゃったの、うん。みんな自宅より遠くに行きたくないから、みんな宮城野の体育館、新田に。

橋 うちとかは学区は東六学区だからさ、東六小の避難所なんて、駅からみんなそこを案内されて、ドカドカ駅からそこに来たっていうので、すごい大変だったみたい。

B そんな広くないもんね。

橋 そう。うちはマンションにいられたから、最初から避難所に行くようなことは考えなかったからさ。でも本当に行かなくて良かったなあって。

B 水は止まった？

橋 水は、やっぱりマンションで最初は出て、いっぱい溜めて、だけどその次の日で無くなったんだな。

B トイレはお風呂の溜め水を。

橋 そうそう、うちもそうやってやってたけど、さすがに尽きるさ。で、うちはお父さんが遺体安置所とかそっちのほうに行かなきゃいけない仕事だったから、ほとんどユウヤと2人きりだったのさ。

B あー、それは大変だよな。

橋 で、並べないし、結構うちはマンションの人たちとは……。

B 接触ない？交流。

橋 ユウヤが、もちろんそういう人がいるのは分かってたと思うけど、近所づきあいとかがほとんど無かったのね。一部の人だけ。

B 大きいところだからね。うちは41世帯で、できたばかりの時、マンションの人と芋煮会とか毎年やってたのよ、梅田川で。だからみんな知ってる。

橋 ね、そういうのに行くと、コトちゃんとかも分かっていたら、やっぱそういう時に強みになるよね。でもうちはそういうのが無かったから、ああ本当にそういう点がダメだったなーってつくづく思った。

B でね、みんな梅田川の水を汲みに来てました。

橋 うん、汲みに行ってた。うちのマンションの人も。

B 何すんのかなーって思ったら、トイレに使うとか、マンションの人も梅田川の水で洗濯したり。

橋 うん、みんな行ってたよー。でも、それも行けなかった。

B で、口コミで「あそこの集会所の水道使えるよ」とか、「うちのマンションの隣の事務所の外水道は水出るよ」って広まって、それで他からもみんな汲みに来てて。なので、みんなが来ない夜に汲みに行ってたの。コトエも一緒に行ってたよね。

橋 でもお父さんも一緒だから、まあいろいろ大人2人いると……。

B うん、水汲みはコトエも一緒に行ったし、ミヤギテレビも一緒に行ったし。

橋 重いしね。そっか、じゃあコトちゃんは結構いろいろ一緒に動けて。

B ガスだけ遅かったね。あと主人も仕事に行くと、会社の付き合いの人から何かもらって来たり、帰りがてら街のほうの中華屋さん、小田原のラーメン屋さんで外で肉まんとか焼き鳥売ってたとかって、それ買ってきたりとか。なんかみんな割とそういう時に、外で店で売ってたとかって。

橋 お店の前でね、お弁当ありますよみたいなね。

B うん、そうそう。マンションも結果的に一部損だけだったので。半壊にもなんなかった。

橋 Bさんの部屋の中で被害はあった？

B 物損で、地震保険に入ってたので、連絡したらすぐ見に来て、東京の人が。家財保険に入ってたから、「半壊です」って50パー下りたんで。

橋 え、半壊になったの？

B 物損ね。家財。

橋 ああ物損ね。家財道具のほうね。

B ほら、冷蔵庫が動いた跡とか。これも動きました、これも倒れましたって言ったら、半壊。だから地震保険で100万円に入ってたけど50万出たので、それで流し台をちょうど新しくしたかったからリフォームした(笑)その年に。

橋 それは助かったね(笑)

B それを元にちょっと足して、流し台リフォームしました。

橋 でも、傾いちゃって住んでられないとか、そういうのではなかったのね。中にいられたのね。

B そういうのはない。外の下水の配管が溢れたとかって言ってたけど、すぐ直してくれて、そういうのに詳しい、そういう仕事に携わっている人がいて、もう全部自分で手配やって、ショベルカーとか来てすぐ直してくれた(笑)

橋 へーすごい。だって行政のなんて待ってたらいつ来るか分かんないもんね。

B そうそう。すぐ直してくれたりして。「直すあいだ流さないでねー、トイレとか流すの、排水しないでねー」とかって、すぐ直してくれて。あと地震保険に入ってる人は各自、建物は一部損だからって言われて。

橋 うんうん。

B まあヒビは入ったりしましたよ。外壁ね、角とか。

橋 内部は大丈夫だった、物損だけだった。

B うんそうだね。冷蔵庫は動いたし、食器棚も倒れたけど、ダイニングテーブルに引っかかって。なので食器がちょこっと……。

橋 まずでも母も無事だったし、コトちゃんもね。

B で、地震があった時、私テレビ見ながらパソコンをやってたから「あ、パソコンとプリンターが危ない」って言って、低いところに落として、座布団かぶせて移動した。

橋 無事だった？

B うん。テレビは動いたけど、液晶だからテープか何かくっつけてたのかな、傾いただけで。あとは直してもらった。冷蔵庫は動いたね。あとは本とか CD とか、あれはもう全部落ちたねー、飛び出たね。

橋 で、4月にもう一回来たじゃない。

B うん。またかーって。

橋 みんなさ、片付けたくらいにまた来てさ、なんか心折れたみたいな（笑）

B うーん。そうだね、でもあれで学習したね、食器棚は重い物を上に置きちゃいけないって。傾くから。それからもう重い物は下に置いて、上には置かない。洗面所も、陶器の置物、歯ブラシ立てでもコップでも全部割れたじゃない？洗面台のボウルが陶器だから。だからもうそういう物は置かないように。そのあとにリフォームした時も「もう今は陶器じゃないよ、地震で割れるから何とか樹脂だよ」って言われて、今それになったの。

橋 そうだよな。

B 本とか CD も飛び出すから、あんまし置かないようにとか。飛び出てくるんだもん（笑）

橋 寒かったしね、あの日ね、雪降ってきたりとかねー。

B うん、でも寒かったから食べ物腐らなかつたんだなーと思って。食中毒とかは起こさなかったから、そういう感染病は。

橋 そうだね。冷蔵庫も電気はあれだったけど結構、まあ冷凍はダメだけど、冷蔵ぐらいの感じで少しもったよね。

B 保冷剤いっぱい冷凍庫に貯めてたから、電気止めても保冷剤で結構冷気が来たからもったんだよね。

橋 うちもやっぱカセットコンロがあったから、じゃあ溶けた冷凍のやつとかから片付けようって。

B そう、もう鍋ですよ、全部鍋で。パンを食べたかったねー、食パン無くてねー。

橋 パンを食べたかった。うち、ユウヤがすごいパンを食べたかったの。でも買えなくてね、なかなか。

B パンはね、「入ってこないねー」って言われた。

橋 そうだね、お店が再開しても、やっぱヨーグルトとかそういうのがなかなか買えないとか。

B 牛乳とかね。自販機はね、まあついてれば買えたから。あと大変だったのは、被災証明書もらうのに区役所に並ぶのね。車も駐車場に入れなくて、宮城野区役所に行く車が 45 号線を、坂下交差点を越えて苦竹のほうまで並んでたもんね。私は歩いて行ったけど。歩いて 30 分くらいで行くから。被災証明書もらうのがね。

橋 本当に良いところに住んでたよねー。徒歩圏でいろいろ……。

B うん、小鶴新田駅も近かったから、電車も動いて。すぐ動いたんじゃない？みんな小鶴新田駅に自転車停めて、そこから通ってたからね。電車は動いてたし、国道に出ればバスも通ってたから。で、区役所も歩いて 30 分くらいで行けたから。銀行もそう。

橋 すごい人だったでしょう？

B うん、被災証明書もらうのにねー。

橋 でもそれをもらわないことには次に進めないもんね。

B そうそう。

橋 でも歩きで行けるところだったし、良かったね。じゃあ困ったのは、やっぱお風呂とかガスとか、お風呂かな。

B そうだね。

橋 通所も再開して通えたし。

B うん、まあお風呂も、実家に行けばいいとあって、昼間に。だからご近所の人もお風呂入りに来たし。

橋 なんかさ、コトちゃんの部分で、こういうサービスとかこういう支援があれば良かったのに、みたいなことってある？

B うーん、そんなに困らなかったんだよ、それ言われると。

橋 そうだね。

B 聞くと、自閉の人はこだわりが強く避難所に行けなかったから、通所施設とか福祉施設センターを避難所にしてくれればいいのに、福祉センターは避難所ではないんだよって話だったよね、県はね。とは言ってたけど。

橋 うちはさ、やっぱヘルパーさんがある程度使えたらよかったかな。結局私、母1人とユウヤと2人きりな感じで……。

B そうだねー。お父さんいないからね、動けないもんね。

橋 無事ではいるけど、いつ水が底をつくか分かんないけど水に並べないし、ガソリンも並べないし。

B その時、お兄ちゃんに電話して「買ってきて」とか頼めなかった？

橋 あー、なかったね。一応、夫が夜とか帰って来れそうな時とかに、どっかで水が手に入らないかなとか、そういうのとかは言ってたけど、あー買えなかったーとか。

B 割と同じようなお母さんと、障害の重いお子さんがいて動けないから、私が買って届けてあげたりしたーとかって話も聞くから。

橋 そう、あんまり……。最終的にはトイレの水じゃなくて、飲み水のほうがやばいなーって。お父さんの仕事は遺体安置所とかそういう仕事で、いつ終わるかは分かんないし。その時ユウヤは小4だったけど、私の困り具合を夫はそんなに分かってなかったと思う。「もう俺は仕事のほうで」って。「ユウヤと2人でよろしく」みたいなさ、ガソリンも使うなとかって言ってたからさあ（笑）

B うわ、それはちょっときついよねー。同性じゃないから、やっぱしさ。

橋 分かってなかったんださー。

B それは不安だね。

橋 夫はあんまり助けにならなくて、マンションの町内会長さんのところに、最終的にはそこに「助けてください」って。「お水が無くなりそうなのでー」って。で、マンションの貯水槽は、うちは3棟あるマンションで、それぞれで話し合いながらどうするとかって言って。ちょっとその時に揉めたのさ、1番館、2番館、3番館って。

B 大きいとそういうことがあるんだ、たくさん世帯数入って。

橋 3番館は梅田川の隣で水汲み放題だし、避難用の……緊急用のトイレも。

B あるんだ。

橋 デラックスなトイレがあったの。でもそれはうちの3番館のものだから他には使わせないとかになって、そういうのも揉めたし。1番館も、それぞれに貯水槽はあるから、本当に最後の最後までそこは守るって。東六よりも全然、幸町南小が近かったから、学区がちょっと変な学区だったの、学区の一番端で。だからみんな東六小に歩いて10分、15分のところに水汲みに行けてたの。で、「そっちがあるから水汲みに行ってください、ちょっと貯水槽は最後の最後まで守ります」みたいな、1番館はまだ出さないですってやってたのね。だけど申し訳ないけど、私はそうやって外に出られないから、貯水槽のほうからお水をいただけませんかって頼みに行ったの。

B うんうん。そしたら？

橋 そしたら、でも会長さんが忙しくて出払ってて、そこの娘さんが「私が行ってあげるよ」って。その頃20代だったのかな、娘さんは。その娘さんが一人で、「何に汲んだらいい？」とかって。「じゃあうちにある大きいやつで汲んでくるからね」って、バタバタその方が動いてくれて、水汲んできてくれたの。

B ああ、良かったねー。

橋 えー、ありがとうございますって。そこのおうちに助けてもらったな。情報はいろいろマンションの掲示板みたいなところに、やっぱりポストみたいなのがどんどん張られてさ、「どこどこがお弁当売り出したぞ」とか、「どこどここのコンビニが何時頃に開くみたいだ」とかって情報がペタペタ張られたりして。地震の次の日は、中江のバス停のところのお寿司屋さんあるでしょ？あそこが、結局冷蔵庫が使えないから、生もの、ネタを処分しなきゃなんないから、透明のビニールパックとかにドバドバ入れて、千円とかって。

B そうだね、廃棄するよりは。

橋 ダメになっちゃうからもう買って売って。家族経営してるちっちゃな寿司屋だから、特に宣伝とか貼り出しとかもなくて、ドアが開いてたから、「すいません」って声かけて初めて「いいよ持ってけ」って。ああそういうふうにはやってんだって分かったんだけど。

B 口コミだね、それは全部ねー。

橋 そうそう。その時は、次の日だけお父さんと一緒に入れたから、ユウヤも連れてお父さんと3人で行ったから、「じゃあユウヤと外で待ってて」とか言ったけど、なんかグルグル出入口のところとかやってて、すぐほら、見て分

かるさ。「あー、僕何が好きなの？」とあって聞いてくれて、「蒸しエビが好きなんですー」って、あの安いほうのエビ（笑）甘エビとかじゃなくて蒸しエビが好きだからさ、「エビとか好きなんですー」って。「じゃあそれいっぱい入れてやんなー」とあって、ガーってやってくれた。そういうのはあった。自販機めぐりとかさ。

B 自販機はそうだよ、穴場だって聞いた。

橋 そう。非常階段で8階から降りてって、ユウヤと一緒にリュックしょって、ちょっと散歩に行こうって。同じルートで自販機めぐりを（笑）あー、今日は買えたーとか。

B そうだよ。学校休みだったり施設が休みだと日常ができないから、その余暇の使い方が困るんだと思うよね。

橋 困った、ほんっとに困った。

B テレビもないから。だからうちは一緒に買いに行ったり、ミヤギテレビに行ったり、「となれす」に並びに行ったりとかしてた。

橋 うちは歩いて30分ぐらいで、幸町の障害者センターに。

B 開いてたでしょ？

橋 開いてた。

B 開けてたって言ってたもんね。

橋 うん、でもそこは隣の啓生園の人たちの避難のスペースだから、外部からはごめんなさい、受け入れはできないって。食べ物とかもあるわけじゃないしって。でも「あ、別にそういうのはいいんですー」って。ユウヤのお楽しみが何にもないから、「チラシとかないですか？」って。「あー、あんまりここ溜めとかないんだよねー」とあって。でもちょっとだけチラシをもらったりとか、古チラシをね。あとは、歩いて行って途中のコンビニで買ったおにぎりをそのまま持ってって、「すいません、ちょっとここで食べさせてください」とあって。ピクニック気分じゃないけど。

B うん、場所貸してもらえるのがいいのよね、気分転換。

橋 そうそう。「それならいいですよ、そこで」って。

B そうだよ。そのあと指定になったんだよね。みんなからそういう相談が来て、福祉センターを避難所にしてほしいってなったと思う。

橋 ねー。そういう動きはあったけど、結局はそんなにさ、福祉避難所の件は未だに進んでない、ちゃんと整備されてはいないさ。

B うん、そうだね。やっぱり公的なそういう支援よりも、身近なサークルとかお友達のネットワークのほうが早いし、言いやすいんじゃないのかな。

橋 うんうん。親の会とか育成会とかそういうのも、ね、そういう時にもうちょっと、何だろうな、つながり合える……今はほら、LINE でつながったりとかね。

B うん、その時はLINE なかったからね。

橋 なかった。

B 携帯電話だもんね。固定に電話かかって来たり、携帯に電話来たり。

橋 学校の先生も、バイクとか自転車とかで動き回れる先生たちが見に来たり。

B 「大丈夫でしたかー」とあって電話来たよね。

橋 で、8階まで非常階段で上がって来てくれたけどさ、「あー先生すいませーん」って。

B 大変だよ。うちはまだ2階だからエレベーター止まってもまァ……。

橋 怖かったよ。やっぱ非常階段で8階からのぼり降りも。その非常階段の時にまた大きい地震が来てさ、非常階段でアレーっとなってなったらと思うと怖いから。

B 怖いよねー。

橋 あんまり本当に下に降りなかったもん。エレベーター再開するまでは。

B ああそっか。あとうちはほら、マンションで常々お付き合いしてるから、「食べ物無かったり困ったら言っで一、分けるよー」とあって言ってくれるおじちゃんとかいたから。「水ある？何ある？」とか言ってくれるし、「あそこであるよー」とあって言う人いるし。

橋 そういう横のつながり、大事だねー。

B だからやっぱり町内会の活動とか顔出しておいたほうがいいかもしれない（笑）

橋 そういのはやってた？町内会、役員だったりとか。

B 子供会で役員やってたから、町内会も知ってるさ。お祭りの時は必ず手伝わなきゃいけないから。あと草取り、小学校の時の6年間は草取りとか毎月行ってたから、みんな知ってる。町内会の民生委員のおじちゃんも知ってるから。子供会で役員してたから、みんな顔見知り。

橋 そっか。

B 小学校は、1ヶ月くらいずっとあれだったもんね。

橋 なかなか再開しなくて。

B しなかったよね。新田小学校。

橋 でもほら、まだ新田とか東六みたいところはさ、グラウンドに仮設住宅が建つとかはなかったから、まだね。

B 新田小学校はちょうど建て替える時のあれだったから、遅れたんだよねー。

橋 ああそうなの。光明もいつ再開するか分かんないとかだったけどね。4月の二十何日だったかね。20日ぐらいかなあ。

B 長かったもんね、小学校もね。でも散歩していると「小学校はいつから再開です」とか、あちこちに貼ってあったりしたからね。

橋 あ、なんか宮城県は……光明とかも県立じゃん。で、一律にしたんだよ。海側とかはなかなか再開できなくて、光明とか他のところはそんなことはないんだけど、県で一律再開にしたから、すごく遅かったの。

B そのあいだ困るよね。お仕事してるお母さんたちは仕事も行けないじゃない。

橋 子どもたちもいつ再開するか分かんないし。

B ストレスは溜まるよね。

橋 うん、ユウヤの大好きなCMもACばかりだし（笑）

B あ、そうだねー。

橋 チラシも来ないし。

B そうそう、新聞ねー。

橋 大人しくしてたけど、何かをやっぱり感じ取って大人しくしてくれたけど、後から思えばね。そうじゃない毎日パニックみたいなお子さんとか、避難所に行けなくて、半壊とかで家にもいられないみたいな人が車で過ごしてたとかって聞くと……。

B そういふの聞くとね、大変だよね。だからそれ考えるとうちは、別に何ともなかったから困らなかった。

橋 でもそれもね、Bさんがちゃんとほら、そうやって横のつながりとかをもともと持ってた人だし、コトちゃんにさをりの織りとかさ、趣味的なことも通えて、そういう場を作ってたから行けたんだもの。うちは趣味的なことがその時は何にもなかったからさ、で、ああ趣味みたいなこと作んなきゃっていう時に、オオツカ先生のセンターで書道の体験があったから行ったのよ。

B でもその前に絵で会ってたさ。震災の前に、うち高校、利府の高1からだから。

橋 うんうん、からふるアトリエでね。あれもうやめちゃってたからさ。3年生の時にやめたのかな、ちょっと手が出るようになってね。

B まあ、反省としてはやっぱり車のガソリンが……。

橋 うん、ガソリンなるべくねー、半分切らないようにだね（笑）

B もう、だからなるべく……支払いの請求日だから、10日締めだからさあ、請求書が。11日になったら入れようとかって言ってたら来た（笑）

橋 （笑）

B ガソリンはちょっとね、思いました。

橋 ガソリンねー。でもやっぱり仙台の人とかは「あー半分切ったな、入れとくか」とかさ、そういう感覚あるじゃない？あんまり減らさないようにって。こんなガソリン高い時でもさ、ちょっと不安だからやっぱり入れとかなきゃなーって思うよね。

B そうそう。

橋 今もいろいろ備えてはいる？

B 避難袋あるから、一応賞味期限来たら……。

橋 ローリングストックみたいに。

B そう、入れ替えしなきゃいけないんだろうけどね、うん。

橋 ちょっとその辺は緩んできたよね。

B 緩んできたよねー。

橋 私も水が賞味期限切れてるわーとか、水買い換えなきゃーって。

B 乾物は必要だよな、やっぱしね。日持ちするねー。

橋 うんうん、そういうのは結構ガッツリあるな。でも逆にうちも小4でギリギリ、中学生ぐらいの反抗期のすごい時じゃなくて良かったなって思う（笑）

B そっか。

橋 暴れるくんみたいな時期じゃなくて。でも逆にその時期の人たちもいたはずだからさ。こうやって聞いて、データに残すっていうのはやっていこうと思います。